

法蔵館書店ニュース 6月

目次

話題の本 P1
法蔵館新刊案内 P2~3
法蔵館重版案内 P4
法蔵館刊行予定案内 P4~5
法蔵館書店新着案内 P5~15

特集1:初めての書写におすすめ! P16~17
特集2:現在製作中!
『2024年版 ほのぼのカレンダー』 P18
お知らせ P19
法蔵館書店ベスト10・メール配信サービスご案内 P20

★お知らせ★ 6、7月の書店休業日

6月のお休み: 4日・11日・18日・25日

7月のお休み: 2日・9日・16日・23日・30日

話題の本

●福井新聞(2023/5/10)

『歎異抄一心に刺さるメッセージ』
田代俊孝著・四六判・110頁・1,100円
ISBN:978-4-8318-8795-5

●週刊ポスト(2023/5/8)

『平田篤胤 狂信から共振へ』
山下久夫・斎藤英喜編・A5判・360頁・6,600円
ISBN:978-4-8318-6276-1

●週間読書人(2023/5/5)

『読書漫筆』
吉川忠夫著・四六判・472頁・3,300円
ISBN:978-4-8318-7763-5

●毎日新聞[夕刊](2023/5/1)

『増補改訂近代仏教スタディーズ
—仏教からみたもうひとつの近代』
大谷栄一・吉永進一・近藤俊太郎編
A5判・352頁・2,200円・ISBN:978-4-8318-5580-0

●京都新聞(2023/4/22)

『憑霊信仰と日本中世社会』
[岡山大学文学部叢書1]
徳永誓子著・A5判・296頁・3,850円
ISBN:978-4-8318-6071-2

●中外日報(2023/4/21)

『中国注疏講義—経書の巻』
古勝隆一著・四六判・264頁・1,980円
ISBN:978-4-8318-7758-1

3刷

●静岡新聞_YOMOっと(2023/4/16)

『自然に学ぶ』
白川英樹著・四六判・146頁・1,320円
ISBN:978-4-8318-5714-9

●朝日新聞(2023/4/15)

『創価学会—政治宗教の成功と隘路』
櫻井義秀・猪瀬優理編・四六判・336頁・2,530円
ISBN:978-4-8318-7765-9

『近現代日本とエホバの証人
—その歴史的展開』

山口瑞穂著・四六判・332頁・3,300円
ISBN:978-4-8318-5724-8

●図書新聞(2023/4/15)

『法力とは何か—「今空海」という衝撃』
老松克博著・四六判・256頁・2,640円
ISBN:978-4-8318-5757-6

●仏教タイムス(2023/4/13)

『奇跡 MIRACULOUS MERIT
—僕の親鸞』
今井亮徳著・四六判・286頁・1,430円
ISBN:978-4-8318-8794-8

●月刊住職(2023/4/1)

『縮刷版 伝教大師真蹟集成』
伝教大師真蹟集成復刊委員会編
B5判・246頁・9,900円・ISBN:978-4-8318-5199-4

●宗教哲学研究 第40号(2023/3)

●比較思想研究 第49号(2023/3/31)

『親鸞—その人間・信仰の魅力』
藤田正勝著・四六判・274頁・3,190円
ISBN:978-4-8318-3845-2

法蔵館新刊案内

◆ひとりふたり・・——お盆を迎える

【真宗／仏教】

ためし読み



四衢 亮編・A5判・24頁・136円

※30部以上は1部110円、100冊以上はさらに送料無料

身近な話題から仏教・真宗の教えにふれる聞法誌。

定期購読をお申込みいただくと……

優先的にいち早くお届け！

買い忘れなく安心です！

詳しくは、法蔵館書店まで。

定期購読
受付中！



《目次》

- ◎いのちの言葉 一人ひとりと誰もが……………村上靖彦
- ◎真宗で終活！ 相続するということ——大切なことを手渡す——……………小林尚樹
- ◎はてなの仏教用語 邪見……………木村宣彰
- ◎真宗のしきたりの不思議 お仏壇のお参りの作法って？……………松本智量
- ◎おうちで精進料理(夏) なすの揚げびたし……………西川玄房
- ◎カンタン英語で浄土真宗入門 英語で和讃に親しむ……………大來尚順
- ◎お寺でヨーガ
リハビリヨーガ——健やかな身体を保つ技——……………Yai
- ◎真宗の名言名句
あなたには回心がないし懺悔もない。ああ、すまないことであつた。
もったいないことであつたという、それが回心です。
その回心がないのは、自力の罪がわからないことである。……………渡邊晃純



◆阿弥陀仏と浄土——親鸞が歩んだ道 【基礎から学ぶ浄土真宗1】

内藤知康著・A5判・200頁・2,200円・ISBN:978-4-8318-7931-8

【仏教／真宗】

人気の授業を書籍化！ 真宗学の第一人者が、浄土真宗の教義を理路整然とわかりやすく語る。浄土真宗を学ぶための決定版。

■目次

刊行にあたって(井上見淳)

序 章 浄土真宗を学ぶということ——真宗学とは何か

第一章 親鸞の宗教体験——親鸞の生涯

第二章 親鸞の追求したもの

第三章 「仏から私へ」という世界

第四章 聖道門と浄土門 ほか

ためし読み



◆親鸞往生論争と教学の現況

【仏教／真宗】

草間法照著・A5判・332頁・2,860円・ISBN:978-4-8318-8796-2

近代以降の往生論争や教学のありようを再考。ステレオタイプ化した「通説」から脱却し、親鸞の実像に迫る！

■目次

第一部 親鸞往生論争の現況

- 第一章 往生論争の経緯
- 第二章 真宗大谷派の往生理解
- 第三章 「即得往生」の解釈
- 第四章 現世往生論者への小谷信千代の批判
- 第五章 現世往生論者からの小谷への批判

第二部 近代における親鸞教学のありようを問う ほか



◆新装版 現代語訳 親鸞全集 3

【仏教／真宗】

——宗義・註釈

真繼伸彦訳・四六判・312頁・2,420円・ISBN:978-4-8318-6596-0

親鸞聖人の全著作を網羅し、現代人が平易に読める現代語訳の決定版全5巻。第2弾、愚禿鈔・一念多念文意ほか「宗義・註釈」。

■目次

親鸞晩年の著述と私
浄土文類聚鈔
愚禿鈔
入出二門偈頌
浄土三経往生文類
如来二種廻向文

尊号真像銘文
一念多念文意
唯信鈔文意
弥陀如来名号徳
解説
語註



◆嘆仏偈〈書写用〉——真宗大谷派版

【仏教／真宗】

◆讃仏偈〈書写用〉——浄土真宗本願寺派版

法藏館編集部編・B5判・12頁・各385円

〈嘆仏偈〉ISBN:978-4-8318-9035-1・〈讃仏偈〉ISBN:978-4-8318-9036-8

お経を書いてみたい、でも何を書いていいのかわからない。

初めての書写におすすめ！気軽に始められる、鉛筆でかける『嘆仏偈』・『讃仏偈』。

読誦もできる宗派別ふりがな付。

嘆仏偈■目次

嘆仏偈とは

凡例

原文（ふりがな付き）・書写欄・意訳

讃仏偈■目次

讃仏偈とは

凡例

原文（ふりがな付き）・書写欄・意訳

※詳しくは16～17頁

法蔵館重版案内

◆法力とは何か——「今空海」という衝撃

2刷 【心理学／仏教】

老松克博著・四六判・256頁・2,640円・ISBN:978-4-8318-5757-6

桁外れの法力を持つ高僧の協力を得て、ユング派の深層心理学の立場から、その法力の核心を照らし出した尖鋭的な研究の成果。

■目次

- 第一章 鉤召
- 第二章 X阿闍梨のこと—青年期まで—
- 第三章 X阿闍梨のこと—青年期以降—
- 第四章 教えと行
- 第五章 ユング心理学に照らして—布置と共時的現象— ほか



◆中国注疏講義——経書の巻

3刷 【中国学】

古勝隆一著・四六判・264頁・1,980円・ISBN:978-4-8318-7758-1

注釈を利用して古典を読む。その手法を基礎と実践で学ぶ。経書の巻は孝経・論語・周易・尚書・詩・礼記・春秋左氏伝の注釈を読む。

■目次

【基本篇】

- 第一講 古典
- 第二講 注釈

- 第三講 『十三経注疏』の概要
- 第四講 字形—文字学

- 第五講 字音—音韻学
- 第六講 字義—訓詁学
- 第七講 辞書
- 第八講 句読・文法
- 【読解篇】 ほか



法蔵館刊行予定案内

〈2023年7月 刊行予定〉

◆寺檀の思想

法蔵館文庫

大桑 斉著、松金直美解説・文庫判・282頁・1,320円・ISBN:978-4-8318-2649-7【仏教史／近世】

近世に生まれた「寺檀」の関係を近代以降にまで存続せしめたものは何だったのか。家を基本構造とする幕藩制下の仏教思想を解明する。

◆藤原道長

法蔵館文庫

山中 裕著、大津 透解説・文庫判・282頁・1,320円・ISBN:978-4-8318-2650-3

【日本史】

栄華を極めた道長を史料から叙述、人間関係から人物像を浮かびあがらせ、既存の図式的な権力者のイメージを排して史実の姿に迫る。

◆安倍晴明の一千年——「晴明現象」を読む

法蔵館文庫

田中貴子著・文庫判・250頁・1,320円・ISBN:978-4-8318-2651-0

【文学／日本史】

スーパー陰陽師・安倍晴明はいかにして誕生したのか。平安時代に生きた晴明が時代と世相にあわせて変貌し続ける「晴明現象」の軌跡を追ひ、晴明に託された人々の思いを探る。

◆新装版 現代語訳 親鸞全集 4——和讃・書簡

真継伸彦訳・四六判・344頁・2,420円・ISBN:978-4-8318-6597-7

【仏教／真宗】

親鸞聖人の全著作を網羅し、現代人が平易に読める現代語訳の決定版全5巻。第3弾は、親鸞思想と人間像を伝える「和讃・書簡」。三帖和讃／末灯鈔／御消息集他。

◆お地蔵さんと日本人

清水邦彦著・四六判・214頁・1,980円・ISBN:978-4-8318-6273-0

【仏教／民俗】

あちこちに祀られているお地蔵さん。なぜ、そこにいるのか？ いったい何なのか？ 歴史や宗教、文学、民俗等からわかりやすく解説。

◆近代日本の思想変動と浄土真宗——教化・連帯・転向

佐々木政文著・A5判・418頁・7,150円・ISBN:978-4-8318-5579-4

【思想史／近代】

部落問題と「思想問題」に関わる真宗教団の社会事業を分析し、「社会の発見」という思想変動前後における浄土真宗の社会的機能を考察。

◆パーリ文『テリー・ガーター』翻訳語彙典

植木雅俊著・A5判・538頁・6,050円・ISBN:978-4-8318-7772-7

【仏教／ジェンダー】

釈尊在世中、女性仏教者は輝き、そして悩んでいた！ 尼僧の詩集『テリー・ガーター』のパーリ語原文の構造や各単語の意味を知りつつ魅力に迫まる。パーリ語学習にも最適！

法蔵館書店新着案内

◆植民地朝鮮と衡平運動——朝鮮被差別民のたたかい

水野直樹編・A5判・230頁・2,640円（解放出版社）

朝鮮社会において厳しい差別を受けてきた人々が解放を求めて組織した「衡平社」。新たな史料などをふまえて、朝鮮衡平運動の展開、運動を担った人びと、運動の歴史的意味、日本の水平運動との関係を明らかにする。

■目次

「白丁」の歴史と差別の実相

衡平社の創立と初期の活動

一九二〇年代後半の衡平運動

衡平運動の変容

水平社と衡平社の交流と連帯

衡平運動と植民地権力

衡平運動の継承

一戦時期・解放直後の動き

ほか



教行信証化身土巻講義

◆親鸞の出遇った世界 浄土真宗Ⅲ

平野 修述・「平野修師講義集」編集実行委員会編
A5判・339頁・2,530円〈真宗大谷派大阪教務所〉

「化身土巻」の内容から、仏教の歴史、そして親鸞聖人のみ教えを徹底的に俯瞰し、私たち自身に問いを投げかける平野修師の思想の集大成とも言える書。第3巻には1992年6月の第20講から1994年2月の第28講までを収録。

■目次

第20講	浄土の真宗	第25講	本願の仏教
第21講	正行・雑行と雑修	第26講	『小本』の顕彰隠密の義
第22講	不回向の行	第27講	大乘無問自説教
第23講	行の選択	第28講	信心為要
第24講	方便の真門		



◆仏教・親鸞浄土教を機軸とした宗教実践と社会実践の研究

龍谷大学世界仏教文化研究叢書45

鍋島直樹他編著・A5判・284頁・3,960円〈方丈堂出版〉

実践真宗学は、現代社会の諸問題に対して宗教がいかにしてその使命を果たしうるか、という課題に応えるために、隣接諸科学との学際的かつ総合的・融合的な研究の推進とともに、より実践的な宗教研究を行う。本書は、実践真宗学の「設置の趣旨」「創設10年の総括」から未来へ向かっての展望他論述する。

■目次

第一部	実践真宗学における宗教実践の基本姿勢	
第二部	実践真宗学における社会実践の基本的姿勢	ほか



◆新時代の浄土真宗

浄土真宗本願寺派総合研究所
浄土真宗本願寺派情報メディアセンター本部編
四六判・244頁・1,320円〈PHP研究所〉

浄土真宗の教えは、これからの時代にどう貢献していくのか？ 生きる意味と、現代社会との寄り添い方を徹底的に問う。釈徹宗、宮崎哲弥、寺本知正による鼎談を収録。

■目次

第1部	み教えに生き方を問い聞く	
第2部	宗門のいま	
第3部	これからの時代における仏教、 浄土真宗が果たしうること(鼎談)	ほか



◆『歎異抄』入門——無宗教からひもとく

阿満利麿著・新書判・221頁・935円〈河出書房新社〉

底知れない不安、絶望。その苦しみを煩惱の身のままで乗り越えていく手掛かりが、ここにある。今、最も注目の古典『歎異抄』。なぜ「南無阿弥陀仏」と称えれば救われるのかなど、常識の枠の中では到底理解し得ない、逆説に満ちた親鸞の教えの本質を、無宗教の視点からひも解いていく。

■目次

- 第一章 あなたも「無宗教」ですか？
- 第二章 「阿弥陀仏の物語」とは？
- 第三章 法然が生み出した「本願念仏」
- 第四章 『歎異抄』とはどんな書物なのか？
- 第五章 煩惱の身のままで救われる ほか



◆仏教のミカタ 2——仏教から現代を考える31のテーマ

東本願寺出版編・新書判・257頁・935円〈東本願寺出版〉

「仏教のミカタ」シリーズ第2弾。「戦争」「レイシズム」「仮想現実」「看取り」など、社会問題や人生の悩み、日々の暮らしの中にある様々な出来事から31のキーワードを抽出し、“仏教のミカタ(見方)から考えてみると?”を提起する一冊。31名の著者が執筆し、各文章の末尾にはキーワードに関するブツダや親鸞聖人などの言葉を紹介。

■目次

- | | |
|---------------|----------------|
| 1 「言葉」の本質 | 5 「戦争」を繰り返さない |
| 2 「自然」に生きる | 6 「レイシズム」を問う |
| 3 「科学」とのつきあい方 | 7 「虐待」を悲しむ |
| 4 人間の「暴力性」 | 8 「格差」と向き合う ほか |



◆60歳からのブツダの言葉

齋藤 孝著・四六判・223頁・1,320円〈秀和システム〉

生きがい、家族、友人、異性、孤独、お金、ストレス、健康、教養……自らも60代として活躍し続けるベストセラー著者が、人類史上最高の知恵を、現代を生きる60代向けに初めて読み解く。

■目次

- 第1章 組織でつきすぎた「分別」から自由になる
- 第2章 60歳からは「捨てる力」が人生を分ける
- 第3章 怒り、不安、孤独を遠ざけるコツ
- 第4章 豊かな出会いが増える「人の見抜き方」
- 第5章 いばらず媚びず、年下と関わる ほか



◆空海論／仏教論

清水高志著・四六判・248頁・2,860円〈以文社〉

東西の人類による知的営為の2500年にわたる歴史を遡行しながら、仏教が見いだした画期とは何だったのかを問いかけ、とりわけ難解とされる空海の理論的テキスト『卍字義』の精読を通じて、現代哲学としての空海を描き出す。

第一部には上七軒文庫で開催・配信された講義「二辺を離れる」(聞き手:師茂樹、亀山隆彦)を加筆修正した「上七軒講義」を掲載、第二部には、著者渾身の書き下ろしである空海「咄字義」に関する論考を収録。

■ 目次

第一部 二辺を離れる——上七軒講義（聞き手：師茂樹、亀山隆彦）

第二部 『呷字義』考



◆弘法大師空海——心を磨く心を満たす

池口恵観著・新書判・322頁・1,210円〈KKロングセラーズ〉

真言密教の開祖・空海が、人間精神の発達を10段階に分けて整理した「十住心論」。煩惱にまみれた心が磨かれ、道徳に目覚め、悟り、至福に包まれ満たされるという教えを、真言密教を代表する宗教家がわかりやすく説く。

■ 目次

人は人となり、磨いて仏となる

巻1 異生牴羊心—自分の心が闇にいることを知る

巻2 愚童持齋心一善き心の兆し。御仏のもとに帰る旅の始まり

巻3 嬰童無畏心—祈りの心に目覚める、その初心が天界の道に通じる

唯蘊無我心一自我の実体は実在しないことを知る ほか



◆はじめての「生と死から学ぶ空海思想」入門

土居夏樹著・A5判・255頁・2,750円〈セルバ出版〉

密教という新しい仏教を日本にもたらしたパイオニア、空海。当時の最先端の思想だった密教に触れた空海がどのような思想を論じたのかを、特に〈生〉と〈死〉に関する問題に焦点をあてて考える。

■ 目次

序章 空海の“問い”

第1章 凡夫の生死

第2章 仏陀の出現

第3章 この身のままで仏陀と成る

第4章 生死の意味

終章 空海の“答え”



中公新書 2748

◆物語 チベットの歴史——天空の仏教国の1400年

石濱裕美子著・新書判・264頁・990円〈中央公論新社〉

古代チベット帝国と諸宗派の成立、ダライ・ラマ政権の誕生、ダライ・ラマ14世によるチベット問題の国際化……。

1400年の歴史を辿り、世界で尊敬の念を集めるチベット仏教と文化の未来を考える。

■目次

序章 仏教国家チベットの始まり

第一章 古代チベット帝国と諸宗派の成立

第二章 ダライ・ラマ政権の誕生

第三章 ダライ・ラマ十三世による仏教界の再興

第四章 ダライ・ラマ十四世によるチベット問題の国際化

終章 現代の神話、ダライ・ラマ十四世



◆[増補改訂]東アジア仏教の生活規則 梵網經——最古の形と発展の歴史

船山 徹著・A5判・547頁・10,560円〈臨川書店〉

東アジア仏教徒の日々の生活規則「梵網經」。中国で偽作されたその「最古」の形を策定し、明確な意図をもって書換えられた經典の歴史変遷に迫る。唐招提寺蔵、覚盛願經「梵網經」の研究も収録。

■目次

第1章 『梵網經』の概略

第2章 『梵網經』下巻の本文—最古形と後代の書換え

第3章 『梵網經』最古形の現代語訳—後代の主な書換えとともに

第4章 『梵網經』下巻の素材と注解

第5章 京都国立博物館蔵 天平勝宝九歳写本の録文 ほか



◆梵網經の教え——今こそ活かす梵網戒

船山 徹著・四六判・247頁・1,980円〈臨川書店〉

いまなお読み継がれる大乘仏教の經典「梵網經」の内容と構成、言葉の特徴を説明。日々の生活規則を記した「梵網經」の下巻の原文を掲載し、その教えを平易な現代語訳でわかりやすく解説する。混迷する現代の課題に答える一冊。『梵網經』下巻原文・全訳付。

■目次

第一章 今も読み継がれる『梵網經』

第二章 『梵網經』下巻最古の原文と現代語訳

第三章 社会を共に生きる

第四章 菩薩の食生活



◆一休宗純『狂雲集』再考

芳澤勝弘著・A5判・625頁・12,100円〈春秋社〉

一休の代表作であり、その破天荒な生き様を映し出す漢詩集『狂雲集』より300首ほど選出し現代語訳と語注を施す。従来の解釈を徹底して見直した独自の理解から、新たな一休像が鮮やかに浮かび上がる画期的大作。

■目次

大灯国師三転語 何似生

朝には眉を結び、夕には肩を交ゆ、我れ何似生

慈明、狭路に楊岐を得たり

工夫日用、閉門の車

百年東海、独り休歇す

工夫、棹を労す、藏公の舟 ほか



◆佛心[新装版]

朝比奈宗源著・四六判・172頁・2,090円〈春秋社〉

名説法で知られた著者が、仏教の肝要たる「仏心」を禅の立場から、平易な言葉で懇切丁寧に説き明かした珠玉の名著。仏教や禅の初心者にはまさに格好の入門書。待望の復刊！「死とは何か？ その答えがこの本にある」

■目次

信心問答

釈尊の教えと禅

根本仏教と禅

坐禅は安楽の法門なり

仏心をめぐって

同老相憐

お年玉

無縁供養 ほか



NHK宗教の時間

◆鈴木大拙願行に生きる

——その生涯と西田幾多郎との交遊(上)

竹村牧男著・A5判・139頁・1,080円〈NHK出版〉

誓願と修行を意味する仏教用語「願行(がんぎょう)」。「日本とアメリカで、生涯を願行に捧げた鈴木大拙の思想に迫る講座。大拙の哲学と人生には、求道の友というべき哲学者・西田幾多郎との交遊が欠かせないものとしてあった。大拙思想の真髄を、その生涯とことばから丁寧に追う。

■目次

第1回 大拙の生涯と西田との出会い

第2回 自由への気概

第3回 釈宗演老師への参拝

第4回 衆生無辺誓願度の覚り

第5回 浄土教への接近

第6回 戦争への悲嘆



NHKこころの時代

◆宮沢賢治——永遠の宇宙に生きる

北川前肇著・A5判・171頁・1,080円〈NHK出版〉

わずか37歳の若さでこの世を去ったにもかかわらず、今なお語り継がれる宮沢賢治。その詩や童話の数々は人々が危機に見舞われるたびに読み直され続けてきた。心に響く賢治の生き方や文学作品を支えたものは何だったのか。家業へのうしろめたさ、農業指導員としての人生、最愛の妹・トシの死、数々の苦しみのなかで、なぜ懸命にいのちと向き合い続けたのか。そこには『法華経』をはじめとする仏教の存在があった。



■目次

第1回 「法華経」との出会い

第2回 「春」と「修羅」のはざままで

第3回 「ほんたうのたべもの」としての童話

第4回 あまねく「いのち」を見つめて

第5回 理想郷「イーハトーブ」の創造

第6回 「デクノボー」として生きる

◆生きることの意味を問う哲学

——森岡正博対談集

森岡正博著・四六判・220頁・2,200円〈青土社〉

反出生主義はほんとうに自殺を導かないのか。加害者であることは引き受けられるのか——。気鋭の論者とともに生きることの深淵や現代における重要テーマを語り合った対談集。『現代思想』掲載に新たな語り下ろしを加えて書籍化。



■目次

第1章 生きることの意味を問う哲学×戸谷洋志

第2章 “血塗られた”場所からの言葉と思考×小松原織香

第3章 日本のなものを越えた未来の哲学×山口尚 ほか

◆ハンナ・アーレント、三つの逃亡

ケン・クリムスティーン著・百木 漢訳・A5変判・237頁・3,960円〈みすず書房〉

ユダヤ人として戦争の世紀に生まれ落ち、現実に向かって“なぜ?”と問いつづける少女ハンナ。「全体主義の起原」「活動的生」を著した不世出の政治哲学者のドラマチックな生涯を繊細に、大胆に、描ききるグラフィックノベル。

■目次

若きハンナの悲しみ——東プロイセン

ハンナ、第一の逃亡——ベルリン

ハンナ、第二の逃亡——パリ

ハンナ、第三の逃亡——ニューヨーク

手すりなき思考——エルサレムとその後 ほか



◆般若——仏教の智慧の核心

森 政弘著・四六判・152頁・1,760円〈佼成出版社〉

科学技術者（制御工学専攻）の著者が、長年の研鑽と実践を通じて掴んだ仏教哲学をもとに、仏教の「智慧」（＝般若）の核心に迫る。

『退歩を学べ』（2011年、6刷）、『仏教新論』（2013年、3刷）と併せて、著者晩年の“仏教哲学三部作”の完結作品。

■目次

- 【第一章】仏教での言葉の立場
- 【第二章】言葉の本質と限界
- 【第三章】「二元性－原論」とは
- 【第四章】大事な仏教教義いくつか



◆悟りと葬式——弔いはなぜ仏教になったか

大竹 晋著・四六判・267頁・1,870円〈筑摩書房〉

悟りと解脱を目ざすはずの仏教が、なぜ葬祭を行なっているのだろうか。仏教が辿ってきた歴史を、土着信仰との結びつきなど、民俗学的見地を交えて俯瞰する。

布施、葬式、戒名、慰霊、追善、起塔の始まりをたどる。

■目次

- | | | | |
|-----|-------------|-----|-------------------|
| 序 章 | それぞれの仏教 | 第五章 | 追善の始まり |
| 第一章 | 布施の始まり | 第六章 | 起塔の始まり |
| 第二章 | 葬式の始まり | 結 章 | 葬式仏教の将来 |
| 第三章 | 戒名の始まり | 附 録 | 『浄飯王般涅槃經』の真偽をめぐって |
| 第四章 | 慰霊の始まりをめぐって | | |



◆お寺の行動経済学

中島隆信著・四六判・193頁・1,760円〈東洋経済新報社〉

ひとはなぜ厄除けをやめられないのか？ 厄年表も各種ご祈禱もお寺の巧みな「営業戦略」？

全国のお寺で大反響『お寺の経済学』待望の続編。

両者の行動を「行動経済学」から分析し、お寺との正しい付き合い方を伝授するとともに、今後の寺院と僧侶のあるべき姿を考える。

■目次

- 第1章 祈りの行動経済学
- 第2章 仏教における祈り
- 第3章 お寺のガバナンス
- 第4章 お寺は生き残れるのか



◆仏師と絵師——日本・東洋美術の制作者たち

筒井忠仁編・A5判・546頁・13,200円〈思文閣出版〉

京都大学名誉教授・根立研介先生の退職記念論文集。各分野・各時代の専門家が、日本・東洋美術史における作品制作者である仏師・絵師に焦点をあて執筆した二一篇の論考を「仏教美術篇」「世俗絵画篇」の二部構成で提示する。

■目次

第1部 仏教美術篇—「祈り」から「かたち」へ

快慶の名乗りの意味と意義

宮津市大谷寺阿弥陀三尊像と仏師 ほか

第2部 世俗絵画篇—制作と享受の場 ほか



◆古代寺院の食を再現する

——西大寺では何を食べていたのか

三舟隆之・馬場 基編・A5判・222頁・3,520円〈吉川弘文館〉

平城京最後の大寺院西大寺。その食堂院跡から見つかった巨大な井戸、大型の甕、製塩土器、魚や動物の骨、植物の種などを科学分析も取り入れ徹底調査。魚肉は食べないとされていた定説に再考を提起し、未解明の課題に挑む。

■目次

I 西大寺食堂院と出土遺物

II 出土遺物の科学分析

III 出土遺物をめぐる再現実験

IV 西大寺食堂院跡の出土遺物からわかる古代の食の再現

——シンポジウム総合討論



◆世界史が苦手な娘に宗教史を教えたら 東大に合格した——島田裕巳の世界宗教史入門講義

島田裕巳著・四六判・309頁・2,640円〈読書人〉

父・島田裕巳氏の娘への〈世界宗教史〉の講義がはじまる。そして一年後——。島田氏の娘は、東大合格を果たす。宗教史を学ぶことが、なぜ世界史テスト高得点に結びついたのか。島田氏の「宗教講義」を再現する。世界宗教史を理解すれば、世界の歴史の全体像が見えてくる——。

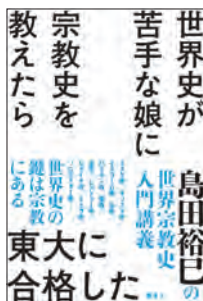
■目次

第1講 なぜ世界史に宗教の知識が必要なのか

第2講 東大の入試をどのように考えればいいのか

第3講 世界の宗教は一神教と多神教に分けられる

第4講 アケメネス朝バベルシアとゾロアスター教 ほか



◆お東さんの日めくりカレンダー 行灯法語

信國眞一随想・四六変判・17頁・770円
〈東本願寺出版〉

ふと足を止め、日常を問い返す 31のメッセージ。
京都・東本願寺を象徴する御影堂・阿弥陀堂・
御影堂門をゆったりとめぐる日替わりイラストを
掲載。

東本願寺参拝のお土産、記念品に最適。

※法語は、東本願寺周辺に設置している
「法語行灯」より掲載。



◆ピンとつながれ糸でんわ

とくますめぐみ作・絵・縦257mm×横210mm・32頁
1,320円〈東本願寺出版〉

幼い少女が、おばあちゃんから伝えられるほとけ様のお話を通し、「いのち」について考え、心に閉じこめていた悲しみを乗り越えていく物語。子どもたちと一緒に、私たちに届けられている声をたずねませんか？

子どもと一緒に、「いのち」について考える大切な絵本。〈対象年齢：6歳〜〉

(公財) 仏教伝道協会主催

「第6回 こころの絵本大賞」入選作品



◆なきごえが じまんの きつね

近藤えり作・絵・B5変判・32頁・275円〈仏教伝道協会〉

「コーン コーン」

きれいな声で鳴く きつね。

お寺の釣り鐘に勝つために声を鍛えて、いざ勝負！

……だけれど なんだかおかしいぞ？

(公財) 仏教伝道協会主催

「第7回 こころの絵本大賞」大賞受賞作品



Sample

◆高田学報 第111輯

高田学会編・A5判・104頁・2,200円〈高田学会〉

■目次

- 論文 武内親鸞論・宗教哲学の根本課題
 —「信楽の論理」を求めて—……堤 正史
 圓遵上人の茶の湯
 —『圓遵上人茶会記』を起点として(2)—……宮武慶之
 講座 『教行信証』の願い……三木彰円

高田学会彙報



隔週刊古寺行こう

◆浄瑠璃寺 岩船寺 円成寺と南山城の名刹 29

◆聖林寺 安倍文殊院と飛鳥の古刹 30

各A4変判・42頁・770円〈小学館〉

浄瑠璃寺 岩船寺 円成寺と南山城の名刹 29……京都府木津川市に立地する浄瑠璃寺・岩船寺、奈良市に立地する円成寺。極楽を表現した浄土庭園、日本に唯一残る九体阿弥陀、運慶作の大日如来を鑑賞できる。

聖林寺 安倍文殊院と飛鳥の古刹 30……鎌倉時代の仏師・快慶により造像された、獅子に乗り脇侍と海を渡る日本最大の文殊菩薩像。令和4年初夏に完成した聖林寺・新観音堂の内陣に安置された日本彫刻史上指折りの名品として名高い十一面観音菩薩立像は見逃せません。



法 藏 館 書 店 新 着 雑 誌 案 内

◆同朋 6月号

〈東本願寺出版〉

真宗大谷派宗務所出版部編・A4判・56頁・400円
 生活に密着した話題から親鸞聖人の教えまで、日々の暮らしのなかにある大切なことを見つめる月刊誌。

■目次

- ◎インタビュー
 SHINGO★西成さん(ヒップホップMC)
 常に冷静に。等身大、自然体で。
 ◎特集 フィールド・レコーディング
 —「聴く」から広がる世界
 ・親鸞万華鏡……ゲスト:姜 尚中 ほか

◆大乘 6月号

〈本願寺出版社〉

大乘刊行会編・B5判・88頁・375円

門信徒の家族が楽しく浄土真宗に親しむための月刊誌。お念仏のよろこびをご家族のみなさまにお届けします。

■目次

- ・釈徹宗の随縁探訪
 シンポジウム「宗教・仏教から現代社会のあり方を考える」
 ・ご機言! お寺の掲示板……江田智昭
 ・マンガ お釈迦さま物語「沙羅双樹」
 ……岡橋徹栄×一ノ瀬かおる ほか

特集1

お経を書いてみたい、
でも何を書いていいのかわからない。

初めての書写におすすめ！

阿弥陀仏の誓願がよくあらわされた嘆仏偈・讃仏偈を、
えんぴつやペンで書写してみませんか？
お経がもっと身近に感じられる一冊！

法藏館から

書写冊子発売！



嘆仏偈

〈書写用〉

真宗大谷派版



讃仏偈

〈書写用〉

浄土真宗本願寺派版

両派版共通

法藏館編集部編・各385円

B5判(25.7cm×18.2cm)・12頁

2023.6月刊

宗派別ふりがな・解説・意識付き 意識：戸次公正



お手本のなぞり書き2回と、お手本なしの1回、合計3回の書写が出来る。
 頁の上段に原文(宗派別ふりがな付き)、中段に書写欄、下段に一句毎に
 対応し解りやすい意識を配し、偈文の意味を理解しながら書写出来る。

CDなら こちら……

真宗大谷派

CD 偈文集

嘆佛偈・三誓偈・願生偈・勸衆偈

東本願寺堂衆読誦・収録時間:23分・2,200円(すねいる)



浄土真宗本願寺派

CD 浄土真宗本願寺派

日常勤行聖典 2枚組

式務部・勤式指導所 監/読誦・2,750円(本願寺出版社)

[Disc1] 礼讃文 三帰依文 正信念偈 ほか

[Disc2] 仏説阿弥陀経 讃仏偈 重誓偈 ほか



特集2

現在製作中!

『2024年版 ほのぼのカレンダー』

いつもほのぼのカレンダー、ご寺号印刷をご利用いただき誠にありがとうございます。

2024年カレンダーは7月末発売予定

お値段据え置き

ほのぼのカレンダー 150円(税込)

東井義雄 標語解説小冊子も据え置き 110円(税込)

※ご寺号印刷代を下記のとおり改定させていただきます。

資材および輸送費等の高騰により、やむを得ず今期受付分よりご寺号印刷代を改訂いたします。
何卒諸般の事情をご高察の上、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

基本印刷代(100部まで) 改訂前6,600円(税込)→改定後7,150円(税込)

追加印刷代(101部~100部ごと) 改訂前1,650円(税込)→改定後1,705円(税込)



詩・東井義雄
絵／文字・谷内正遠



※レイアウトは変更する場合があります。

お知らせ

中外日報「宗教文化講座」

法藏館書店 協賛

テーマ：念仏一筋の道を選ぶ―浄土宗立教開宗850年記念 法然上人の導き

第3回 リモート可

9月1日(金) 法然上人による浄土立教開宗の意義

大正大学教授 林田 康順氏

〈会場〉しんらん交流館 大谷ホール(JR京都駅中央口、徒歩12分)・定員：150

第4回 リモート可

10月27日(金) 愚癡に還りて極楽へ

佛教大学学長 伊藤 真宏氏

〈会場〉京都テルサ 東館2階セミナー室
(地下鉄烏丸線九条駅4番出口、西へ徒歩5分)・定員：168

※受講申し込み・お問い合わせ ⇒ 中外日報社営業企画部

〒601-8004 京都府京都市南区東九条東山王町9番地

TEL：075-682-1625 FAX：075-682-1722

Eメール：shuppan@chugainippoh.co.jp

希望する講座、氏名、年齢、住所、電話番号をご記入の上、ハガキ、FAX、メールでお申し込みください。

●受講料は1講座1,000円(税込)、リモート参加も同額

※リモート参加(Zoom)のお申し込みは、中外日報社上記のメールアドレスに「リモート参加」と明記の上、希望する講座、氏名、住所、メールアドレスをお知らせください。

学会販売

◎第60回藝能史研究會大会

期間：6月11日(日)

会場：龍谷大学 大宮キャンパス 東翼101

アクセス：JR東海道本線・近鉄京都線・京都市営地下鉄烏丸線「京都」駅下車、北西へ徒歩約10分

◎「宗教と社会」学会 第31回学術大会

期間：6月24日(土)・6月25日(日)

会場：愛知学院大学 名城公園キャンパス

アクセス：名古屋市長地下鉄 名城線「名城公園駅」2番出口より徒歩約1分

◆◆◆法藏館書店売行ベスト10(5月期)◆◆◆

順位	書名	著者名	出版社名	定価(税込)
1	正信念仏物語—親鸞聖人偈頌意訳本	松下雅文訳	法藏館	220円
2	人間はなぜ争うことをやめられないのか	一楽 真	真宗佛光寺派	250円
3	生きものたちと仏教のはなし	華園真慶	法藏館	1,430円
4	親鸞 左訓・字訓・語訓辞典 4刷	田代俊孝編	法藏館	3,300円
5	心に響く3分間法話 子どもに聞かせたい法話	仏の子を育てる会編	法藏館	1,100円
6	七日参りのお話—大切な人を送った人へ	竹中尚文	自照社	1,100円
7	増補改訂 近代仏教スタディーズ—仏教からみたもうひとつの近代	大谷栄一・吉永進一 近藤俊太郎編	法藏館	2,200円
8	真宗門徒の生活に自信を持とう	宮城 顕	法藏館	1,100円
9	唯識—これだけは知りたい	加藤朝胤 ^{監修} 船山 徹・石垣明貴 ^{共著}	法藏館	1,650円
10	親鸞・初期真宗門流の研究	同朋大学 仏教文化研究所編	法藏館	8,800円

【メール配信サービスのご案内】

法藏館書店では、WEBサイトで本をご購入いただいた方やアンケートにお答えいただいた方に新刊情報などのメール配信サービスを行っております。

◎アドレス変更・配信停止について◎

<http://www.hozokan.co.jp>のページ下の「メールサービス」から、メールアドレスの登録と解除を行ってください。過去のメールもご覧になれます。

◆ご注文・お問い合わせは、メールの他に、電話・FAX・はがきでも承ります。
店頭在庫がない場合はお取り寄せとなります。ご了承ください。

◆荷送料はご購入額合計により
定価16,500円(税込)未満 送料—450円 代引手数料 330円
定価16,500円(税込)以上 送料、代引手数料ともに無料

◆価格表示は全て税込価格です。

法藏館書店 友の会会員募集中!

友の会に入会すると、割引や来店特典など多数の特典をご用意しております。

仏教書友の会

検索





法藏館書店

住 所: 〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
電 話: 075-343-0458 FAX: 075-371-0458
発行人: 西村明高
E-mail: shop@hozokan.co.jp

<http://www.hozokan.co.jp>

仏教の風

検索



— [営業日および営業時間] —

月～土: 9:30～18:00

祝 日: 10:30～18:00

(休業日: 毎週日曜日・お盆・年末年始)

法藏館ブログ「編集室の机から」を更新中!

twitter

facebook

つぶやき中〜!